

動物

の

診察室

から

〇 28 〇

ゴールデンレトリバーのポッキーちゃんとクッキーちゃんは五歳の女の子です。年に数回、小学校と老人ホームへ飼い主さんと一緒に訪問します。これは、新潟市動物愛護協会のふれあい活動の一環で、動物とふれあうことで、子供たちに命の大切さ、動物の温かさを感じてもらいます。

猫を乗せている時は、安らいだ気持ちになりま



自宅できつろぐポッキーとクッキー

僕らはセラピー犬

を感じてもらい、老人ホームでは、動物たちと一緒に楽しい時間をすごしてもらいます。

このような活動は、新潟市以外の動物愛護協会でも、積極的に行われています。

ポッキーちゃんと、クッキーちゃんは昨年からの活動に参加しています。二頭ともとても優しく、子供たちには大人気です。私は、横で犬が寝ている時や、ひぎの上に

温かさや安らぎ与える

の途中で、ワンちゃんの散歩をすると言い出しました。その方は普段は歩くことはほとんどできない方でした。以前犬を飼っていたので、ワンちゃんのリードをもつて歩きたいとのことでした。看護スタッフが両脇で補助をし、おじいちゃんを立たせると、なんと

おじいちゃんは、数歩ですが自分だけで歩くことができましたのです。

あるおばあちゃんは、普段はほとんど感情を表すこともなく、食事も食べさせてもらっていたそうです。その方は、小さなワンちゃんをひぎに乗せてあげると、普段は動かすことのない右手をゆ

の顔は穏やかに笑っていました。看護のスタッフさんは、とてもおどろいて、ミーティングの時に、こんなこともあるのですね、感動しましたと話していました。

愛護協会へ問い合わせてください。新潟市では、六月三日に「ふれあい活動ボランティアアピキナーセミナー」も開催されます。あなたの動物の愛を、ほかの人に伝えてみませんか！

この活動に参加して、二頭ともとても優しく、子供たちには大人気です。私は、横で犬が寝ている時や、ひぎの上に

おじいちゃんを立たせると、なんと

おじいちゃんを立たせると、なんと

おじいちゃんを立たせると、なんと

おじいちゃんを立たせると、なんと